

事業所名

児童発達支援事業 ぼんど

支援プログラム(保育所等訪問支援)

作成日

8

年

2

月

1

日

法人(事業所)理念	子ども達が健やかに成長し、すべての子どもがその個々の可能性を最大限に発揮できるよう支援する。個々の発達段階や特性を尊重し、一人ひとりが笑顔で幸福を感じられるような社会全体の生きやすさにつなげていく。		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や発達段階を踏まえた支援の実施 ・成功体験の積み重ねによる自己肯定感の向上 ・保育所職員への助言・支援方法の共有による支援の質の向上 ・集団生活への適応(生活習慣、対人関係、活動参加)の促進 ・視覚的支援や構造化(スケジュール、環境調整等)による理解の促進 ・家庭との情報共有を通じた一貫した支援体制の構築 		
営業時間	月～土 (日、祝日、年末年始を除く)	9時00分から17時00分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・園で安心して過ごせるよう、環境調整や関わり方について助言し、心身の安定を図る。 ・視覚的支援(手順表、絵カード等)を活用し、身支度や生活行動の自立を促す。 ・体調不良時のサインや表出方法について整理し、職員間で共有する。 ・園内外での危険場面を想定し、安全に過ごすための関わり方や声かけ方法を提案する。 ・排泄、食事、着替え等の生活動作について、園での様子を踏まえ手順の整理や支援方法の統一を行う。 ・生活リズム(登園時の不安や眠気等)を把握し、園と家庭間で情報共有しながら安定を図る。 ・水分補給や休息の取り方について助言し、無理のない活動参加を促す。 ・感覚特性(音・触覚・食感等)に配慮し、無理のない関わりや環境調整を行う。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢保持や基本的な動作(座る・立つ・移動等)の様子を把握し、安定して活動に参加できるよう助言する。 ・手先の操作(はさみ、スプーン、ボタン等)について発達段階に応じた関わり方を提案する。 ・粗大運動(走る、跳ぶ等)における安全面に配慮した支援方法を共有する。 ・過度な刺激を避け、落ち着いて活動できる環境づくりを支援する。 ・感覚特性(過敏・鈍麻)に応じた環境調整(音・光・触覚等)について助言する。 ・感覚遊びや身体活動を通して、安心して取り組める関わり方を提案する。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の見通しが持てるよう、スケジュールや視覚的支援の活用方法を提案する。 ・こだわり行動や切り替えの難しさに対して、予告や選択肢提示等の対応方法を共有する。 ・不適切行動の背景を整理し、環境調整や関わり方の統一を図る。 ・ルール理解や順序立てた行動ができるよう、段階的な支援方法を助言する。 ・成功体験を積み重ねられるよう、課題設定や関わり方について助言する。 ・注意の向け方や集中の持続について、個別に応じた支援方法を提案する。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるやり取りの発達段階を把握し、適切な関わり方を助言する。 ・要求や気持ちを適切に表出できるよう支援方法を共有する。 ・職員間で統一した声かけや対応ができるよう支援する。 ・指差し、ジェスチャー、絵カード等を活用したコミュニケーション手段を提案する。 ・一方的な発話や理解の難しさに対し、やり取りを促す関わり方を助言する。 ・必要に応じて、簡単な手話や視覚支援ツールの活用を提案する。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる大人との関係形成を基盤に、対人関係の広がりを支援する。 ・集団活動への参加が難しい場合、段階的な参加方法を提案する。 ・トラブル場面における対応方法(仲裁・代替行動)を職員間で統一する。 ・友だちとの関わり方(順番、貸し借り等)について具体的な支援方法を助言する。 ・感情のコントロールや気持ちの切り替えについて支援方法を共有する。 ・社会的ルール(待つ、並ぶ等)の理解を促す関わり方を助言する。 	
家族支援	家庭での様子や困りごとを把握し、園での支援内容と共有することで一貫した関わりができるよう支援する。生活リズムや行動面について家庭で取り入れやすい具体的な対応方法を助言する。保護者の不安や負担軽減に配慮しながら相談支援を行い、安心して子育てができるよう支援する。	移行支援	保育所や幼稚園等での適応状況を踏まえ、就学や次の集団生活への円滑な移行に向けた支援を行う。関係機関と情報共有を行い、支援方法や配慮事項の引き継ぎを行う。本人の特性に応じた環境調整や関わり方を整理し、移行先での安定した生活につなげる
地域支援・地域連携	保育所、幼稚園、学校等の関係機関と連携し、支援方法や対応について共有する。必要に応じて関係機関との会議や情報交換を行い、地域全体で子どもを支える体制づくりを行う。地域資源を活用し、継続的かつ適切な支援が受けられるよう調整する。	職員の質の向上	発達特性や支援方法に関する研修を実施し、専門性の向上を図る。支援内容の振り返りや事例検討を通して職員間で共通理解を深める。外部研修や専門職との連携を通じて新たな知識や技術を取り入れ、支援の質の向上に努める。
主な行事等	特別な行事は設けず、訪問先での日常的な活動や行事への参加を通して支援を行う。必要に応じて行事前後の環境調整や関わり方について助言し、安心して参加できるよう支援する。		